資料2	令和7年2月17日
第42回高知県がん対策推進協議会	

第４期高知県がん対策推進計画の中間評価の進め方について

第4期高知県がん対策推進計画（R6-R11）の概要

全体目標

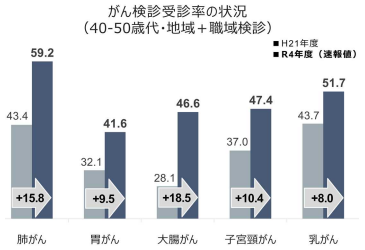
1　がん死亡率の減少	2　がん罹患率の減少	3　がんになっても安心して暮らすことができる

取組の４つの分野と目標

1　科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

現状・課題

- 喫煙等の生活習慣について更なる改善が必要。
- 肺がん及び乳がん検診を除き、第３期計画目標の「50%」を達成していない。
- 職場のがん検診の実態を把握する仕組みがない。



取り組む施策

- 生活習慣の改善に向けた普及啓発
- 科学的かつ効果的な受診勧奨策の推進
- HPVワクチン接種の推進
- 受診率目標を50%→60%に引き上げ
- 職場のがん検診の実施状況の把握
- 学校現場におけるがん教育の推進

2　患者本位で持続可能ながん医療の提供

現状・課題

- 中央保健医療圏に拠点病院が集中しているため、周辺機関との連携強化が必要。
- 質の高いがん医療を提供するため、多職種によるチーム医療の推進が必要。
- がん患者の苦痛に対する適切なケア・治療の普及が必要。
- 小児から高齢者までライフステージに応じた治療及び療養体制が必要。

取り組む施策

- 拠点病院等の機能充実と連携強化
- 緩和ケアの提供体制の強化
- 小児・AYA世代の妊よう性温存治療の支援
- ライフステージに応じた支援の充実

3　がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

現状・課題

- 相談窓口の認知度が十分でないため、周知において改善が必要。
- がんと診断後、４人に１人が退職又は休職しているため、治療と仕事の両立支援の充実が必要。
- 治療に対する外見変化（アピアランス）へのサポートが必要。

取り組む施策

- がん患者や家族への情報提供や普及啓発の強化
- 治療と仕事の両立支援のための正しい知識の普及
- アピアランスケアに対する支援の充実

4　これらを支える基盤の整備

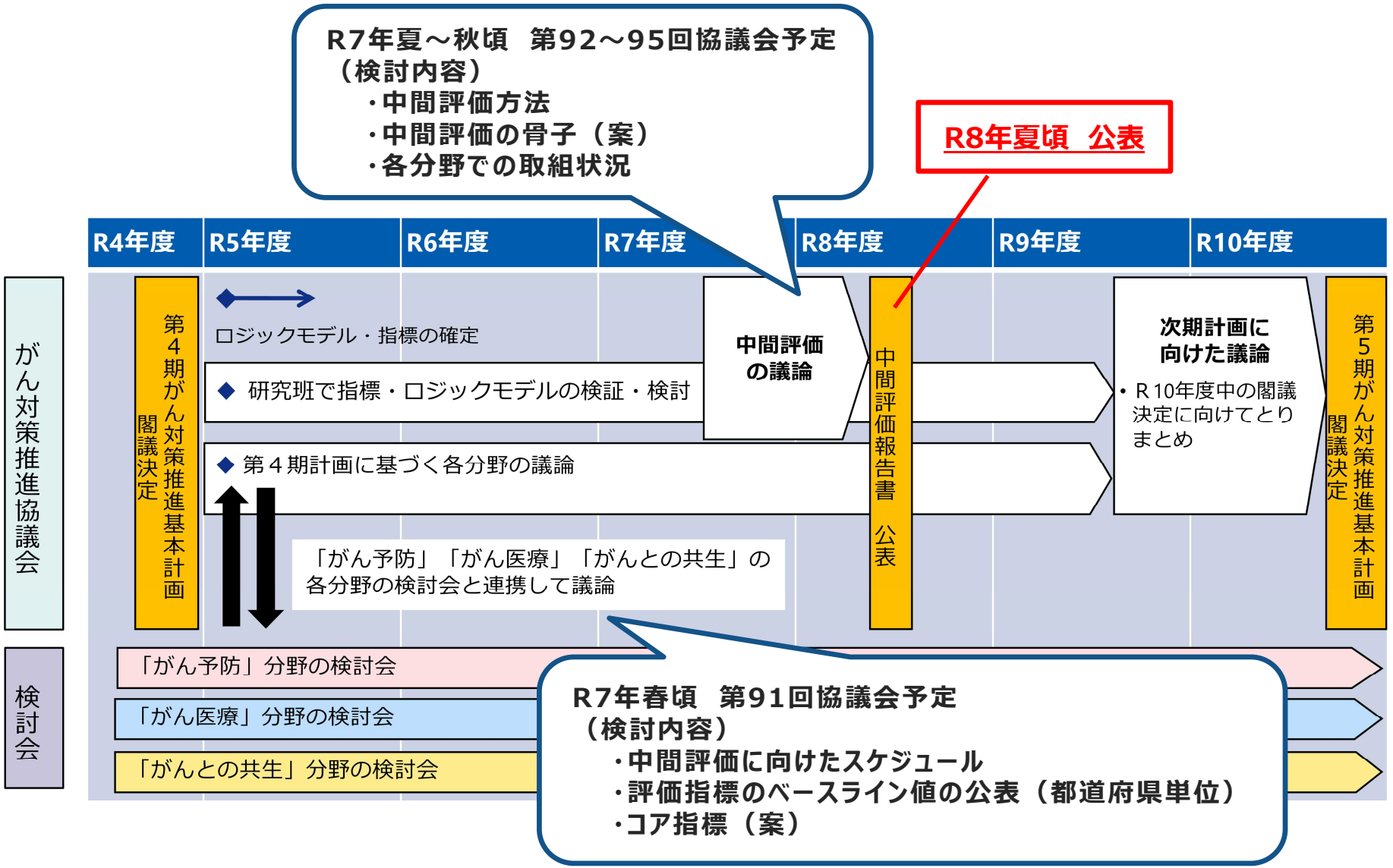
現状・課題

- がん医療に携わる専門の医療従事者が拠点病院に集中している。
- がん登録情報を活用した、がん対策の企画立案及び評価が必要。
- オンラインでの相談支援体制の確保やがん検診受診勧奨などの効率的かつ効果的なサービスの提供が必要。

取り組む施策

- がん医療に専門的に関わる医療従事者の確保・育成
- がん登録の利活用の推進
- がん検診受診勧奨等のデジタル化

国第4期がん対策推進基本計画のスケジュール



第90回がん対策推進協議会（R6.8.5）資料より

第4期高知県がん対策推進計画における進捗管理

国の中間評価を参考にしつつ、R8年度に県計画の中間評価を行うこととする
県保健医療計画（R6-R11　※５疾病の１つに「がん」が含まれる）も
R8年度に中間見直しを予定しているため、併せて指標や本文の見直しを行う

○中間評価のイメージ（案）

（１）指標の評価　　計画に定められた指標について、目標値までの進捗率を評価
（２）取組の評価　　計画に定められた取組について、その進捗状況を評価
（３）計画後半の方向性　　指標や取組の進捗を踏まえ、後半の施策の方向性を検討

R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
○進捗評価	○進捗評価	**★中間評価**	○進捗評価	○進捗評価	★最終評価
	・患者満足度等調査 ・県民世論調査	・がん診療体制調査	・患者満足度等調査 ・県民世論調査		・患者満足度等調査 ・県民世論調査 ・がん診療体制調査

「○進捗評価」…アウトカム指標と個別施策の実施状況等を基に評価し、取組の推進に向けてご助言等をいただく
「★中間評価」「最終評価」…アウトプット指標も含めた全ての指標を確認し、施策の適切性や今後に向けた課題点を確認する